

授業科目	臨床栄養活動論 (A クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	管理栄養士 栄教一種免		ナンバリング	NT21804J		
開講年次	3	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1			
担当教員	渡邊 和美、山田 志麻							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>臨床における管理栄養士は、医療スタッフの一員として専門性を活用することが求められる。医療スタッフ間で使用される医療用語(専門用語)や他職種の専門性の理解を深め、医療施設における様々な医療チームの一員としての管理栄養士の役割や業務内容を整理する。さらに、傷病者の病態・情報から栄養状態を評価・判定し、栄養計画を立案するといった臨床栄養管理業務と給食経営管理業務の関連を理解し、医療における栄養の専門家として総合的なマネジメント力を修得することを目標とする。</p> <p>なお、実務家教員として、病院管理栄養士を招聘し、第一線の臨床の場での管理栄養士の活動ならびにチーム医療での管理栄養士の専門性やその役割をより深く理解するよう促す。また、医療人としての心構えを培う。</p> <p>本科目は管理栄養士免許取得のための必修科目に位置づけられると同時に、3年次の「臨地実習Ⅱ(臨床栄養:病院実習)」を履修するために、きわめて重要な科目である。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療施設における他職種の専門性について説明できる</li> <li>2. 医療施設における管理栄養士の役割と専門性について説明できる</li> <li>3. 医療保険制度(診療報酬)と管理栄養士の名称独占についての関連を説明できる</li> <li>4. 医療施設におけるチーム医療と管理栄養士の活動の実際について理解できる</li> <li>5. 診療録(カルテ)から病態と情報を読み取り、栄養アセスメント、栄養ケアの目標設定を行い、実施可能な計画を立案することができる</li> <li>6. 栄養ケア計画をもとに、適切で具体的な栄養・食事療法、栄養補給法を提案することができる</li> <li>7. 栄養ケア記録の意義について理解し、栄養ケア記録を作成することができる</li> <li>8. 医療人とは何か、医療過誤を含めた医療に関する法律と管理栄養士の関わりについて理解できる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合/ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	70	0	30	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	5		5				10	
知識・理解 (DP1-2)	15		5				20	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10		5				15	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	20		5				25	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)	5		5				10	
態度(DP4-2)	10						10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	5		5				10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

標準的レベル 1~8 の全てを達成したうえで、知識に関しては、より詳細かつ丁寧に説明できる。さらに、これまでに修得した知識が実際の臨床の場において、どのように展開されているかを十分に理解することができる。		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療施設における他職種の専門性について説明できる</li> <li>2. 医療施設における管理栄養士の役割と専門性について説明できる</li> <li>3. 医療保険制度(診療報酬)と管理栄養士の名称独占についての関連を説明できる</li> <li>4. 医療施設におけるチーム医療と管理栄養士の活動の実際について理解できる</li> <li>5. 診療録(カルテ)から病態と情報を読み取り、栄養アセスメント、栄養ケアの目標設定を行い、実施可能な計画を立案することができる</li> <li>6. 栄養ケア計画をもとに、適切で具体的な栄養・食事療法、栄養補給法を提案することができる</li> <li>7. 栄養ケア記録の意義について理解し、栄養ケア記録を作成することができる</li> <li>8. 医療人とは何か、医療過誤を含めた医療に関する法律と管理栄養士の関わりについて理解できる</li> </ol>		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション(渡邊和美、山田志麻) 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。	講義	講義内容の復習をする。	30
2	テーマ:医療施設における管理栄養士の専門性(渡邊和美、山田志麻) 医療保険制度(診療報酬・入院時食事療養費)と医療施設における管理栄養士の業務の関連について解説する。	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60
3	テーマ:医療施設における管理栄養士業務の実際(外部講師、渡邊和美、山田志麻) 病院における管理栄養士業務の実際(栄養管理・栄養指導・チーム医療等)について解説する。	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60
4	テーマ:医療施設における栄養管理業務 1(渡邊和美、山田志麻) 診療録から傷病者の病態・情報から問題点を読み取り、栄養状態の評価・判定から、栄養ケアの目標設定および栄養ケア計画を作成する。	講義・演習	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60
5	テーマ:医療施設における栄養管理業務 2(外部講師、渡邊和美、山田志麻) 栄養ケア計画の実際について解説し、栄養ケアの目標設定および栄養ケア計画を作成する。	講義・演習	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60
6	テーマ:医療施設における栄養管理業務 3(渡邊和美、山田志麻) 栄養ケア計画の実施から、モニタリング、評価について解説し、再評価における 栄養ケア計画を作成する。	講義・演習	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60
7	テーマ:管理栄養士と医療過誤関連法律(外部講師、渡邊和美、山田志麻) 臨床における管理栄養士の実践活動と医療過誤について解説する。	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60
8	テーマ:臨床管理栄養士が担う役割と業務(渡邊和美、山田志麻) 臨床における管理栄養士の担う役割と業務についてまとめる。	講義	予習:教科書と配布資料で確認する 復習:該当部分を理解する。	30 60

9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	<p>本科目では、臨床(特に医療)に従事する管理栄養士の専門性、役割、業務内容を確認し、臨床栄養分野における総合的なマネジメント力を修得する必要がある。</p> <p>そのため、これまでに学んだ以下のような科目について、十分な知識および技術を必要とする。</p> <p>「公衆衛生学」で学んだ医療保険制度</p> <p>「解剖生理学」「生化学」「疾病診断治療学」で学んだ傷病者の疾病のなりたち</p> <p>「臨床栄養管理学」で学んだ一連の栄養管理業務の基礎</p> <p>「給食経営管理論」で学んだ対象者の把握から食事提供までの流れや大量調理施設衛生管理マニュアルに基づいた衛生管理</p> <p>「応用栄養学」で学んだライフステージ別の特徴や日本人の食事摂取基準の活用</p>
---------------	--

テキスト	福岡県栄養士会監修:「病院等栄養管理の基本と実際」(福岡県栄養士会)
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	臨床栄養管理学で配布した資料を参照する。 その他、必要に応じて、資料を配付する。 寺本房子編:臨地実習マニュアル「臨床栄養学」(建帛社) ISBN:978-4-7679-0686-7
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	臨床の場で栄養管理を実践している管理栄養士をはじめ、様々な立場の講師を招聘し、臨床(特に医療)に従事する管理栄養士の実際について講義します。管理栄養士に必要な栄養管理業務の知識を深め、給食経営管理業務と繋げたより実践的な管理栄養士業務の知識を獲得することが期待します。これまで学んだ講義や実習が実際の場において、どのように展開されているかをしっかりと理解し、臨地実習 2(臨床栄養)へと結び付けるようにしましょう。
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	成績評価は、定期試験結果およびレポート提出評価結果を主として行う。詳細については、授業の中で説明する。レポートは評価後に返却する。